

神奈川大学防災フェア 2018 に参加



写真1 神奈川大学防災フェア 2018 会場入り口

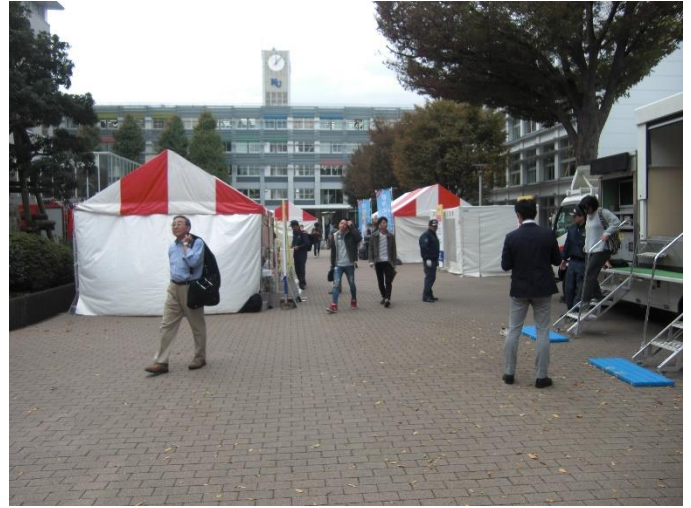


写真2 神奈川大学防災フェア 2018 会場



写真3 神奈川大学防災フェア 2018 起震車を見学中の相川会長

HP 記事

更新情報・お知らせ

2018/11/13 神奈川大学防災フェア 2018 出席

(ご参考)

内閣府の防災情報ページによれば、30年以内にM7クラスの首都直下型地震発生確率（平成29年3月1日現在）は70%程度とされており、近い将来私たちの周りで大きな地震が起こる可能性が高まっています。当協会は、会員のみならず地域の方々への防災・減災の意識向上と社会貢献を目的とした施策に積極的に取り組んでいます。この一環として災害時にコンパクトで大量の水を運ぶことのできる仙人タンク（常識にとらわれないミラクルなものとして名付けられた）を主導的に製品の開発を進めており、広く社会での普及を目指しています。今回防災意識向上及び近隣住民やその他一般の方々との連携を図る目的で開催される神奈川大学主催防災フェアが平成30年11月13日（火）開催されました。当初当協会の仙人タンクの展示を考えていましたが、時間的な問題などで展示はできませんでした。当日は、相川会長他関係者が当該防災フェアに参加し、仙人タンクのPRと情報収集を行いました。